

# 問題を抱える子ども等の自立支援事業

平成20年度予算額(案):855百万円(1,227百万円)

課題

1. 子どもの状況は様々であり、その状況に応じてどのような支援を行うか。
2. 事後的な対応だけでなく、未然防止や早期発見・早期対応をどのように行うか。

1, 2の課題を解決するために、不登校、暴力行為、いじめ、児童虐待、高校中退という課題に応じて  
①子どもの状況の把握の在り方(子どものSOSを待つだけでなく、「小さな変化に気づく」ことを重視)  
②関係機関とのネットワークを活用した早期からの支援の在り方  
との観点から調査研究を委託(都道府県・市町村教育委員会からの申請を審査評価委員会で選定)。

## 不登校

<具体例>

- ・欠席し始めた児童生徒の状況把握の在り方
- ・欠席し始めた児童生徒に対する早期の効果的な支援の在り方 等

## 暴力行為

<具体例>

- ・反抗的な態度を示すなど暴力行為の予兆が見られる子どもの状況把握の在り方
- ・暴力行為の予兆が見られる子どもに対する家庭等と連携した支援の方策 等

## いじめ

<具体例>

- ・いじめにつながる学級内でのトラブルを早期に発見する効果的な方策
- ・学級内でのトラブルを未然に防ぐための学級集団作りの効果的な方策 等

## 児童虐待

<具体例>

- ・虐待が疑われるようなケースの早期発見・早期対応のための体制の在り方
- ・虐待事例に対応するための関係機関との連携の在り方 等

## 高校中退

<具体例>

- ・学習上のつまずきなど生徒が抱える悩みの把握の在り方
- ・地域の人材などを活用した学習支援の在り方 等

取組の成果を検証し、連絡普及協議会により、全国に普及



未然防止、早期発見・早期対応

問題を抱える子ども等の自立支援の充実

